

お手入れ(つづき)

パワーブラシ



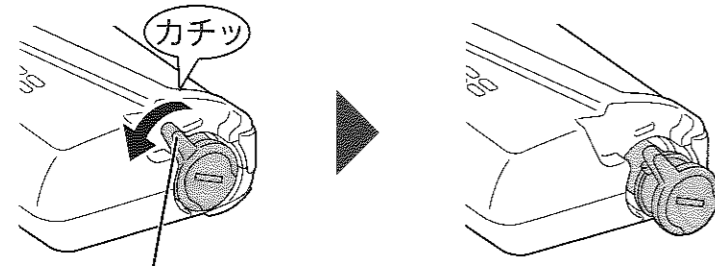
水洗い不可

パワーブラシ本体は水洗いできません。
(回転ブラシのみ水洗いできます)

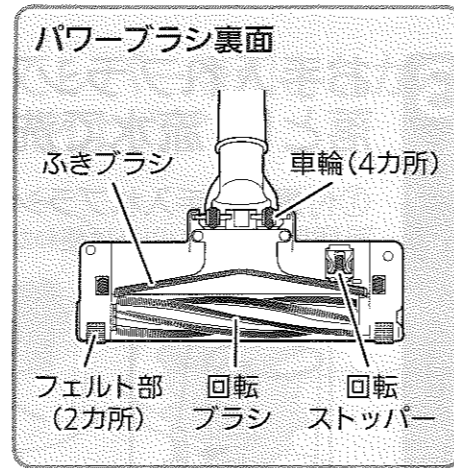
■お掃除ごとのお手入れをおすすめします。

1 回転ブラシのロックをはずす

必ず伸縮パイプからはずして、お手入れしてください。

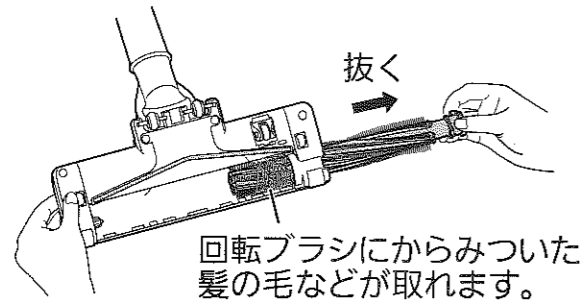


つまみを矢印方向に回し、
ロックをはずす



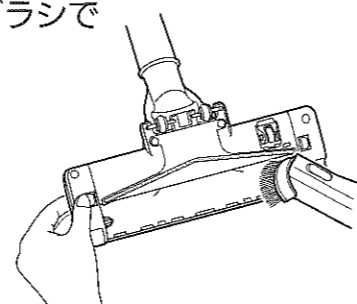
2 つまみを持って、回転ブラシを引き抜く

①回転ブラシを引き抜く



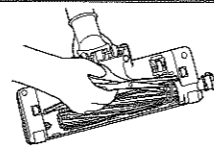
回転ブラシにからみついた
髪の毛などが取れます。

②取れた髪の毛などを
すみずみブラシで
吸い取る



おねがい

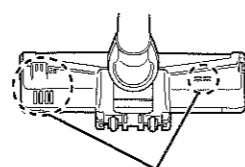
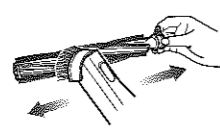
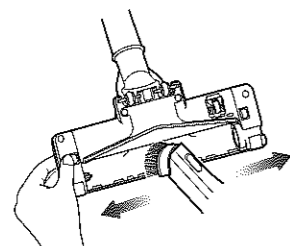
- からみついた髪の毛などで回転ブラシが引き抜きにくい場合は、ハサミで切ってください。
- 回転ブラシをむりやり引き抜かないでください。
[故障の原因]



回転ブラシの植毛を
切らないように
してください。

3 すみずみブラシでお掃除する P10

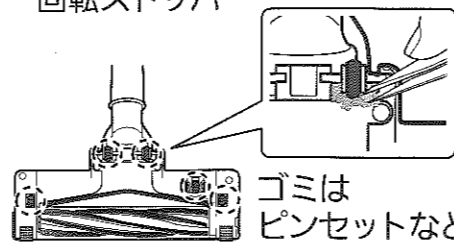
①パワーブラシ裏面 ②回転ブラシ ③通気口



ゴミを吸い取る

パワーブラシの
保護装置について P21

④車輪(4カ所)
回転ストッパー



ゴミは
ピンセットなど
で取り除く

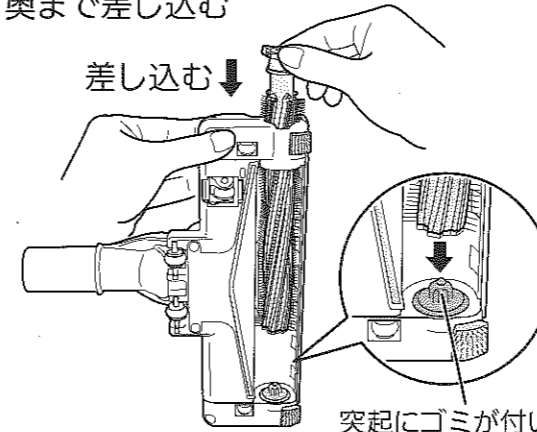
⚠ 注意

- 車輪・回転ストッパー・ふきブラシ・フェルト部などが摩耗したまま使わない
- 車輪などに髪の毛などがからみついたまま使わない
[床面などに傷がつく原因]

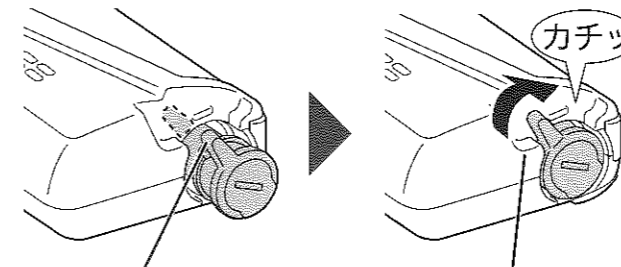
- 必ずパイプからはずして、お手入れしてください。
- お手入れの際は、特にお子さまにご注意ください。

4 回転ブラシを取りつける

①つまみを持ち、回転ブラシをしっかり
奥まで差し込む



②回転ブラシをロックする



つまみを [] の
範囲に押し込む

つまみを矢印方向に
回し、確実にロックする

おねがい

回転ブラシを確実にロックしてください。
[故障の原因]

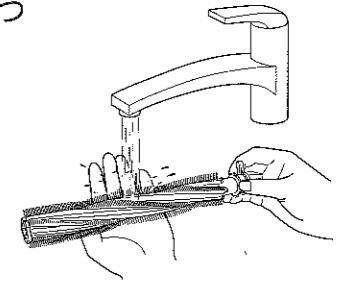
■汚れが気になったとき

回転ブラシを水洗いし、 陰干しで充分乾燥させる

①水で洗う

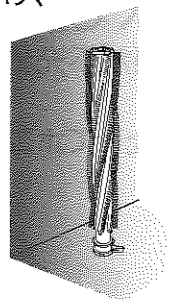


水洗い可



②5回以上振り、よく水をきる

③つまみ側を下に向け、
陰干しで
約1日乾かす



おねがい

- 洗剤・漂白剤などは使わないでください。
- 暖房器具・ドライヤーなどで乾燥しないでください。
- 回転ブラシに注油しないでください。
[変形・変色・故障の原因]

- 回転ブラシは消耗部品です。摩耗したら交換してください。P31
- 車輪・ふきブラシ・フェルト部が摩耗したら、部品交換が必要となります(有料)。その際は、ブラシをお預かりしての修理になります。お買上げの販売店にご連絡ください。

パワーブラシの保護装置について (問合わせと修理を依頼される前に次のことをご確認ください)

●パワーブラシのモーターの過熱を防ぐために保護装置が働いて、回転ブラシが止まる場合があります。

- 原因
- 回転ブラシに髪の毛・異物などがからんだり、通気口にゴミがたまったまま使用した
 - 回転ブラシを回転させたまま、長時間放置した
 - パワーブラシを床面やじゅうたんに強く押しつけた
 - 特に薄いじゅうたん・毛足の長いじゅうたンを掃除した

- 直しかた
- ①運転「切」にし、電源プラグを抜く
 - ②パワーブラシをお手入れする
→保護装置が解除されるまで、
約5~10分お待ちください。
(時間は周囲温度によって異なります)

●本体の保護装置 P29 が働くと、パワーブラシのモーターの過熱を防ぐために回転ブラシが止まります。